

一般財団法人ワンアジア財団寄附講義

「アジア社会論」

アジア共同体での対話：A Dialogue for One Asia

本講義は国際文化学科の専門教育の基礎をなす科目であり、一般財団法人ワンアジア財団寄附講義として「アジア共同体での対話」をキーコンセプトに 15 回の講義から構成します。「アジア共同体での対話」というキーコンセプトのもと、「時間」と「空間」という二つのクロスボーダー軸を設定します。時間軸としては歴史と現代をつなぐ研究、そして空間軸として複数の文化圏にまたがる社会文化的状況に着目した研究がベースとなります。さらに、これらを超えていくクロスボーダーな領域を加えています。

アジアの多文化・多言語の社会的・文化的状況について国際比較研究に取り組んでいる国内外の研究者を招き、それぞれの専門領域から「アジア共同体」の意味合いと発展的な可能性について探究する講義です。アジアの固有性と普遍性を多面的にとらえ、「自分自身」が生きている・生きていくアジアの現在と未来について捉える学びとなります。

講義スケジュール・テーマ・講師

第1回 「高齢化するアジアにおける対話」

4/9

金 恵媛 (Kim Hyeweon) / 山口県立大学

第2回 「世界の地域統合の現状とアジア共同体創成の展望」

4/16

須藤 繁 (Sudo Shigeru) / 帝京平成大学

第3回 「災害復興を通じた対話と文化協働：インドネシアの事例から」

4/23

中川 眞 (Nakagawa Shin) / 大阪市立大学

第4回 「デンマークとの比較のなかでアジアの高齢者生活を考える」

5/14

奥山 正司 (Okuyama Shoji) / 東京経済大学

第5回 「アジア共同体の実現のために」

5/21

佐藤 洋治 (Sato Yoji) / 一般財団法人ワンアジア財団

第6回 「歴史コンテンツを活用した韓・日市民交流」

5/28

尹 龍嬾 (Yoon Yonghyuk) / 国立公州大校

第7回 「アジア共同体における英語の役割とグローバル人材の育成」

6/4

岩野 雅子 (Iwano Masako) / 山口県立大学

第8回 「アジア固有の高齢化政策のゆくえ：シンガポールの高齢化政策を手掛かりに」

6/11

タン レンレン (Thang Leng Leng) / シンガポール国立大学

第9回 「中国の高齢化をめぐる日本及びアジアでの協力関係」

6/18

馬 利中 (Ma Lizhong) / 上海大学

第10回 「境界と違いへの新たなアプローチ」

6/25

セリグマン アダム (Seligman Adam) / ボストン大学

第11回 「陳澄波の『東洋』との対話：1937年《嘉義公園》の視点から」

7/2

邱 函妮 (Chiu Han-ni) / 国立台湾大学

第12回 「人々の国際移動：統合への新たな挑戦」

7/9

アクメトヴァ サルタナ (Akhmetova Saltanat) / ナザルバエフ大学

第13回 「食文化でつながるアジア」

7/16

金 英順 (Kim Youngsoon) / 建陽大校

第14回 「アジア共同体—どこから、どのように？」

7/23

井竿 富雄 (Izao Tomio) / 山口県立大学

第15回 「今、なぜ、アジア共同体なのか」

7/30

鄭 俊坤 (Chung Joon-kon) / 一般財団法人ワンアジア財団



一般財団法人ワンアジア財団は、将来に向けたアジア共同体の創成に寄与することを目的に、2003年より活動を開始しています。日本をはじめとしてアジアの多くの大学の講座及び奨学金の助成を行っています。本講義でも受講生のなかで優秀な学生に対して、奨学金が授与されます。

受講生の皆さんへのメッセージ

山口県立大学国際文化学部は世界のグローバル化時代に対応できる人材を育成するために26年前に開設され、12年前には国際文化学科と文化創造学科の2学科体制での教育カリキュラムを展開してきました。その結果、多くの卒業生が国内外で活躍しています。

2012年からは5年間、文部科学省「経済社会の発展を牽引するグローバル人材育成」事業に取り組み、本学部独自の教育プログラム「インターローカル人材」を輩出してきました。

2019年度から一般財団法人ワンアジア財団の助成を受け「アジア社会論 アジア共同体での対話」を実施します。アジア各国やアメリカ、そして全国から12名の研究者を招き、ワンアジアの視点から最先端のアジア研究や生きたアジアの現状などをお話しして頂きます。こうした学びを通じて、多文化共生時代を力強く生き抜き、寛容なコミュニケーション能力をもった人材を育成します。

奨学金制度がこの授業に設定されており、受講者の中から熱心に受講した学生が選ばれ奨学金が授与されます（詳細は初回の授業ガイダンスで説明します）。多くの受講生の受講をお待ちしています。

国際文化学部長 水谷 由美子

学部紹介

山口県立大学国際文化学部では、国際的視点を持ち、地域の諸課題に対応できる教養と技能を備え、地域の国際化や個性豊かな地域文化の振興と創造に資する人材を育成しています。

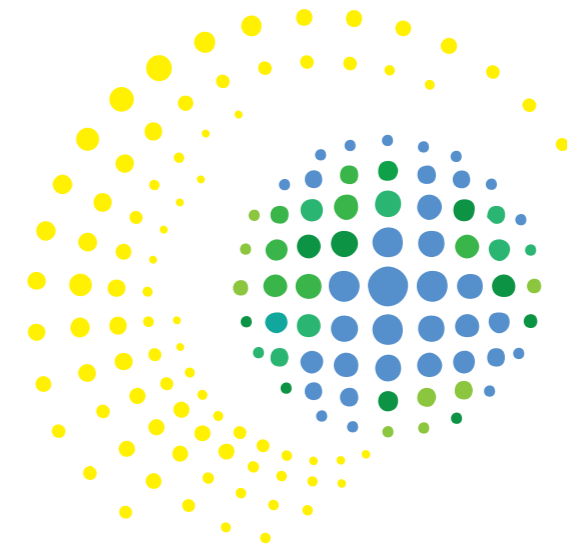
国際文化学科には英語コースと国際文化コースがあり、異文化交流や国際コミュニケーションのスキルを磨き、語学研修や海外実習、海外留学などを通して、語学力と国際的な行動力を身につけます。

文化創造学科には日本文化コースとデザイン創造コースがあり、歴史的な文脈を意識しながら、みずからの文化や芸術そして地域文化について知識を深め、積極的に情報や資料にふれたうえで、アイデアを効果的に表現し、発信できることを目指しています。



山口県立大学 国際文化学部

2019年4月、国内外から研究者を招く寄附講義が始まります



一般財団法人ワンアジア財団寄附講義

「アジア社会論」

アジア共同体での対話
A Dialogue for One Asia

国際文化学部国際文化学科
「アジア社会論」

2019/4/9 (火) ~ 7/30 (火)

14:40 - 16:10 (毎週火曜日)

B306 教室

山口県立大学北キャンパス2号館

山口県立大学国際文化学部では、グローバル人材(地域と地域をつなぐインターローカル人材)を育成するとともに、COC+事業のなかで地域活性化に資するYFL人材(やまぐち未来創成リーダー)の育成を行っています。

この度、一般財団法人ワンアジア財団の助成を受け、日本の位置するアジアの未来を考え、人々とつながり、広くアジア地域社会の未来をつくりだす人材を育成するため、国内外の研究者を招いた講義を展開します。英語、中国語、韓国語などによるトップクラスの講義を受け、事前事後学習を含めて、自分の頭で主体的に考え、行動する学生を育てます。

【お問い合わせ】

〒753-8502 山口市桜島3-2-1
山口県立大学国際文化学部事務室
Tel: 083-928-3423
e-mail: kokusai-jimu@fis.ypu.jp

